

## 【ご挨拶】

美術思想家・岡倉天心は、1905年に現在の北茨城市五浦に六角堂を構え、その後日本美術院を移すなど、五浦の地を拠点に日本美術の振興に寄与し、国際的な活動を展開しました。また、各界の名士を招待した「仲秋観月会」を開催していました。このことを偲び、茨城大学五浦美術文化研究所では、長年にわたって「観月会」の名を冠した展覧会などの多彩な催しを開いています。

今年度の「観月会 2023」(11/19～12/17)では、広島市出身(金沢市在住)の現代美術作家・山本基氏による展覧会の開催を企画しております。山本氏は、浄化や清めを喚起させる「塩」を用いたインスタレーション作品を制作されています。本研究所では、2011年の東日本大震災における津波によって、天心遺跡の一つである六角堂が太平洋へ流出いたしました。2013年に再建され、現在では復興のシンボルとも捉えられております。太平洋に面した五浦海岸に立地する天心遺跡(六角堂)を会場とすることで、人々に寄り添い、深い感銘を与えてくださる山本氏の作品を、訴求したいと存じます。

さて、2023年秋には五浦日本美術院岡倉天心偉績顕彰会主催の『第25回 天心サミット in 五浦』がコロナ禍による度重なる中止を乗り越え、北茨城市で開催されます。そこで、研究所の共催事業として、天心遺跡(六角堂)を会場とした『観月会 2023 特別展示 山本基展「時を纏う」』を開催いたします。今回の特別展示では、山本氏のご協力のもと、サミット(10/21・22)に合わせていち早く平面作品『時を纏う(Shrouded in Time)』(2023)他を展示いたします。これにより、開会に花を添えることが出来たら幸いです。何卒ご高覧いただきませうようお願い申し上げます。

主催者

## 【作家情報】

山本 基/Motoi Yamamoto

1966年 広島県尾道市生まれ

1995年 金沢美術工芸大学 絵画専攻卒業

ニューヨーク近代美術館 MoMA P.S.1をはじめ、エルミタージュ美術館、東京都現代美術館、箱根・彫刻の森美術館、金沢21世紀美術館、瀬戸内国際芸術祭等、国内外で多数発表

# 観月会 2023

特別展示

山本基 展

# 時を纏う

【期間】 2023年10月21日(土) 22日(日)

【会場】 茨城大学五浦美術文化研究所〔天心遺跡〕 記念館・六角堂  
319-1703 茨城県北茨城市大津町五浦 727-2  
TEL:0293-46-0766

【時間】 午前8時30分から午後5時まで(入場は開館終了時間の30分前まで)

【入場料】 400円(中学生以下は無料)

【お問い合わせ先】

茨城大学 研究・社会連携部 社会連携課(平日 8:30-17:15)

E-mail:6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp

TEL:029-228-8425 FAX:029-228-8089

【主催】 茨城大学五浦美術文化研究所

【協力】 YUKIKOMIZUTANI